

ソフトバンクテレコム(株) 2006年度決算概要



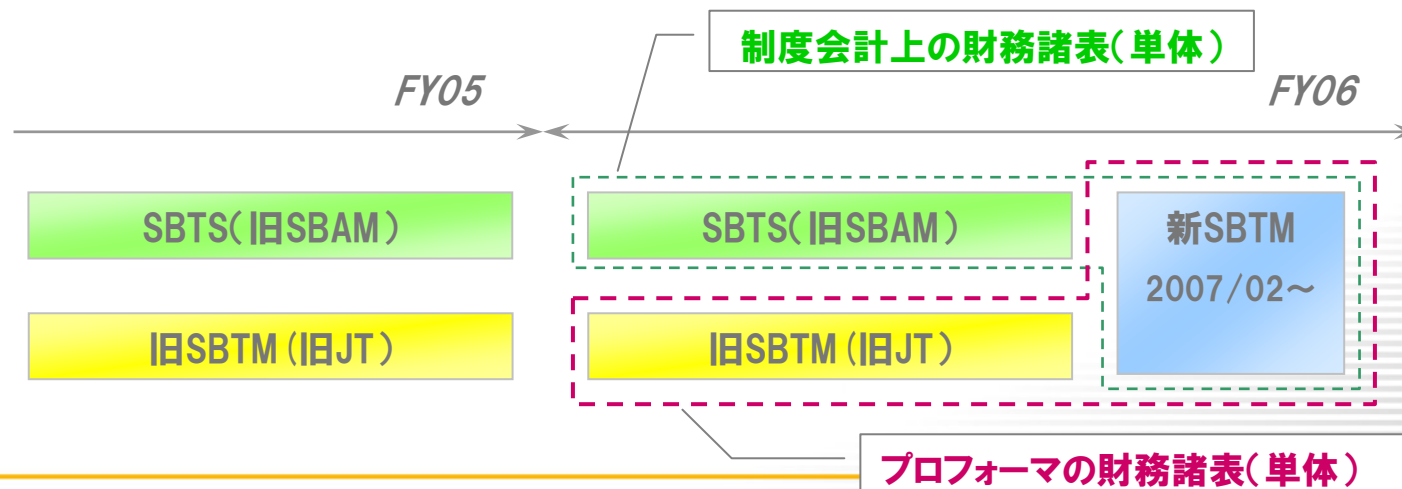
2007年 6月 7日

For Your Networking Universe

Copyrights Reserved ©SOFTBANK TELECOM

留意事項

1. 2007年2月にソフトバンクテレコム(株)(旧SBTM)とソフトバンクテレコム販売(株)(SBTS、旧ソフトバンク・エーエム(株)(旧SBAM))は合併しました。存続会社はソフトバンクテレコム販売(株)となり、合併後の商号はソフトバンクテレコム(株)(新)SBTM)となりました。
2. 本合併の結果、当事業年度の制度会計上の財務諸表には、(旧)SBTMの損益(2006年4月~2007年1月)は含まれておりません。
3. よって当社業績の継続的な比較を可能とするために、本決算概要資料においては、2006年度通年ベースの**プロフォーマ財務諸表(単体ベース)**に基づいて説明を行っております。なお、このプロフォーマ財務諸表については監査法人の監査を受けておりません。
4. 別添に、プロフォーマ財務諸表(単体ベース)および制度会計上の財務諸表(単体ベース)を添付しております。



1. グループ会社の再編

- ・2006年4月 日本テレコムネットワーク情報サービス(株)と合併
ソフトバンクBB(株) 法人事業の統合
- ・2006年6月 平成電電(株) / 平成電電コミュニケーションズ(株) /
ドリームテクノロジーズ(株)からの電気通信サービス事業譲受

2. 社名変更

- ・2006年10月 日本テレコムからソフトバンクテレコムへ社名変更
- ・2007年 2月 ソフトバンクテレコム販売(株)と合併し、財務体質を強化

3. 法人向けモバイルソリューション事業の強化

- ・ソフトバンクモバイル(株)とモバイル事業推進体制を連携し、携帯端末の大手法人向け販売および大手法人向けモバイルソリューションの開発・提供を開始

1. 単体決算の概要

営業利益が黒字化

(単位:億円)	FY05	FY06	前期比
	'05年4月~'06年3月	'06年4月~'07年3月	
	a	b	b-a
営業収益	3,435	3,770	335
営業利益	(216)	16	232
経常利益	(370)	(130)	240
税引前当期利益	(877)	(131)	746
EBITDA	186	414	228
修正EBITDA	351	569	218
CAPEX	803	352	(451)

注1) EBITDA: 「営業利益」+「営業内減価償却費」+「営業内固定資産除却費」

注2) 修正EBITDA: EBITDA+「営業内リース料」

注3) CAPEX: 取得ベース

プロフォーマベース

2. キャッシュフローの状況

損益の改善と設備投資の圧縮によりFCFが黒字化

(単位：億円)	FY05	FY06
営業CF	(602)	256
投資CF	(991)	(223)
財務CF	1,504	(63)
現金等増減額	(89)	(32)
現金等期首残高	184	95
現金等期末残高	95	63※

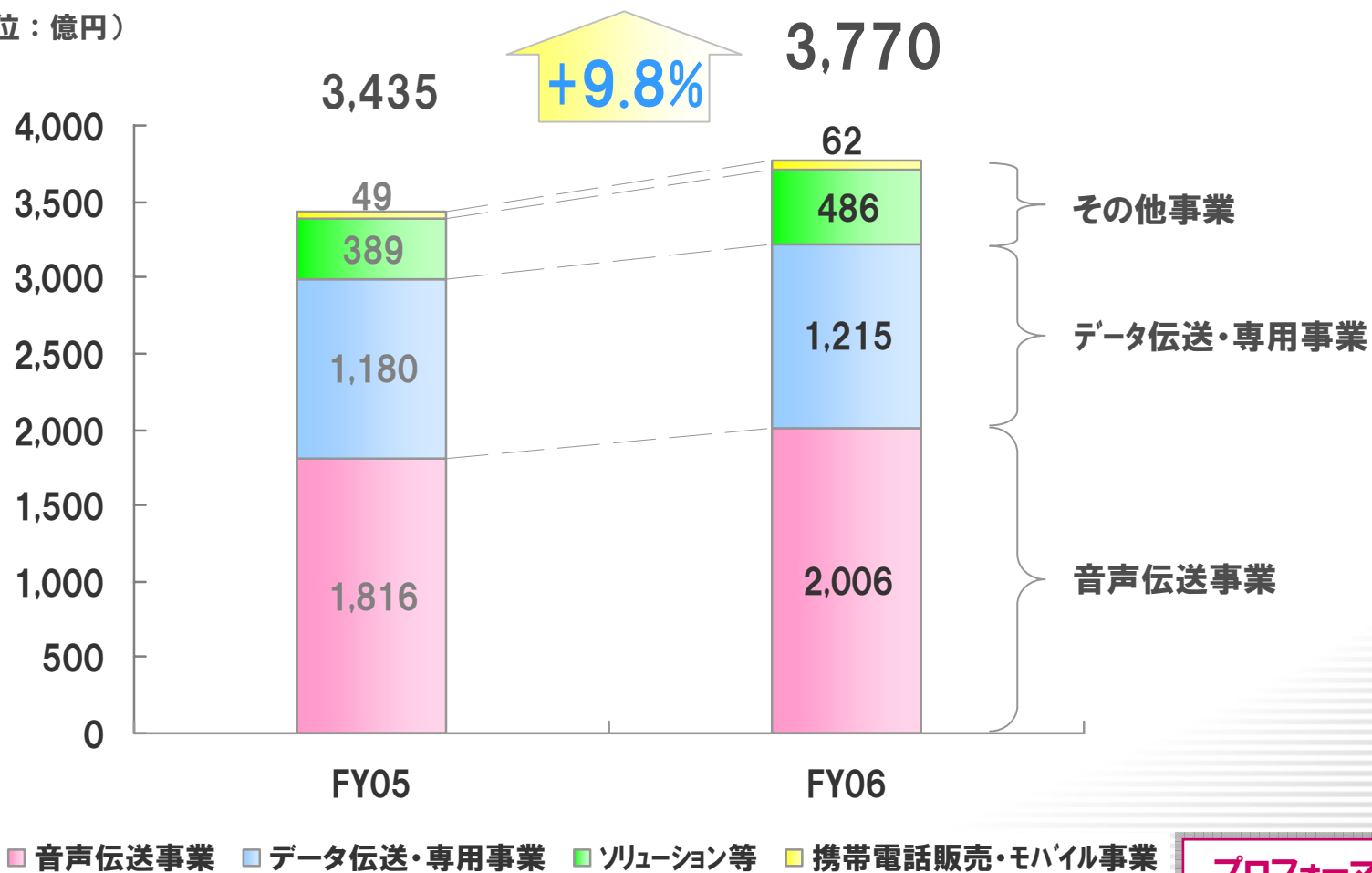
※当社の2007年3月31日現在の現金及び現金同等物の期末残高は202億円となります。
旧ソフトバンクテレコム販売の2007年1月31日現在の現金及び現金同等物138億円を反映しておりません。

プロフォーマベース

3.各事業別営業収益の状況

営業収益が対前期比9.8%増

(単位：億円)

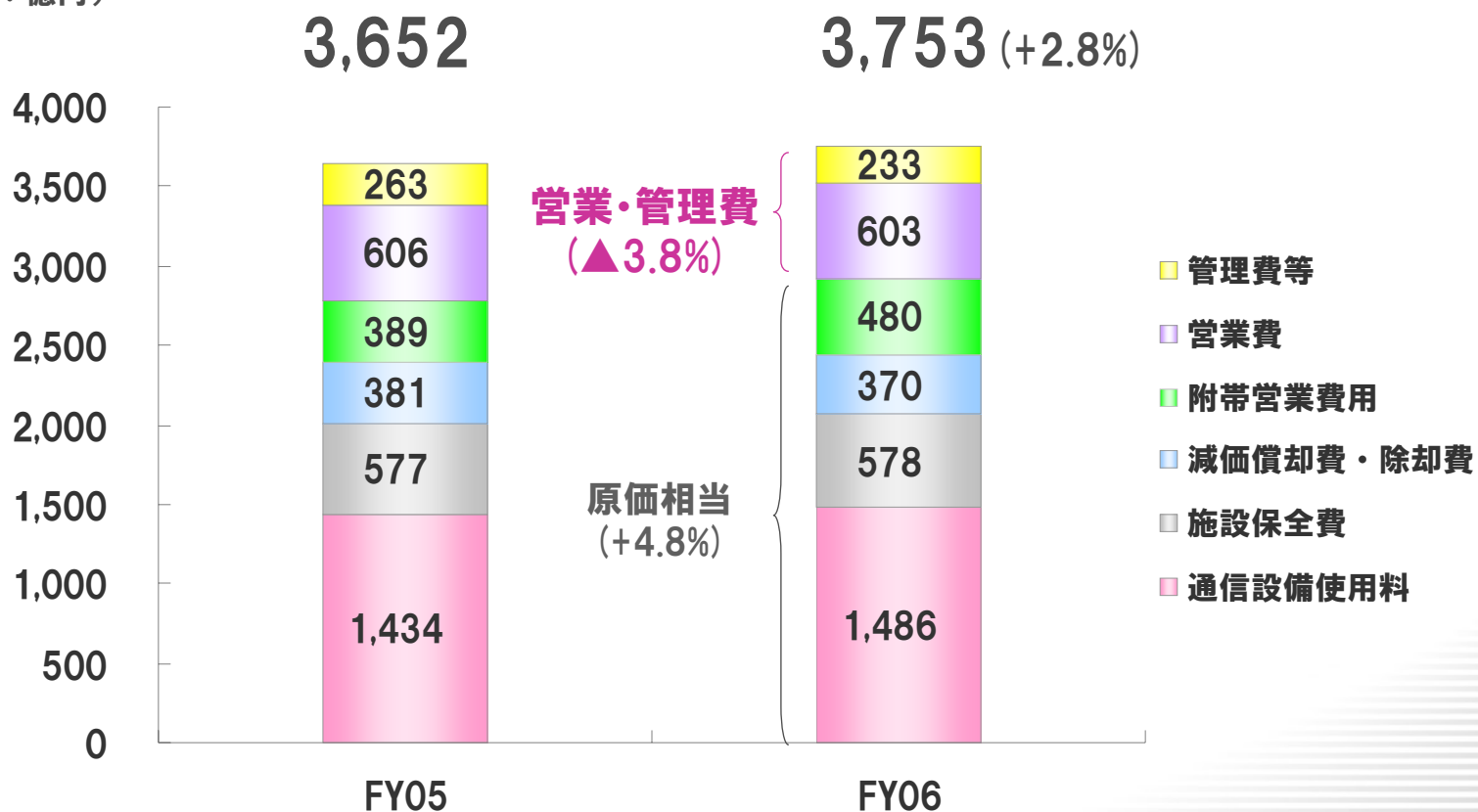


注) FY05携帯電話販売事業は2005年7月に売却

4. 営業費用の状況

収益の増加に伴い原価相当の営業費用は増加したものの、
営業費・管理費等が前期比で▲3.8%減少

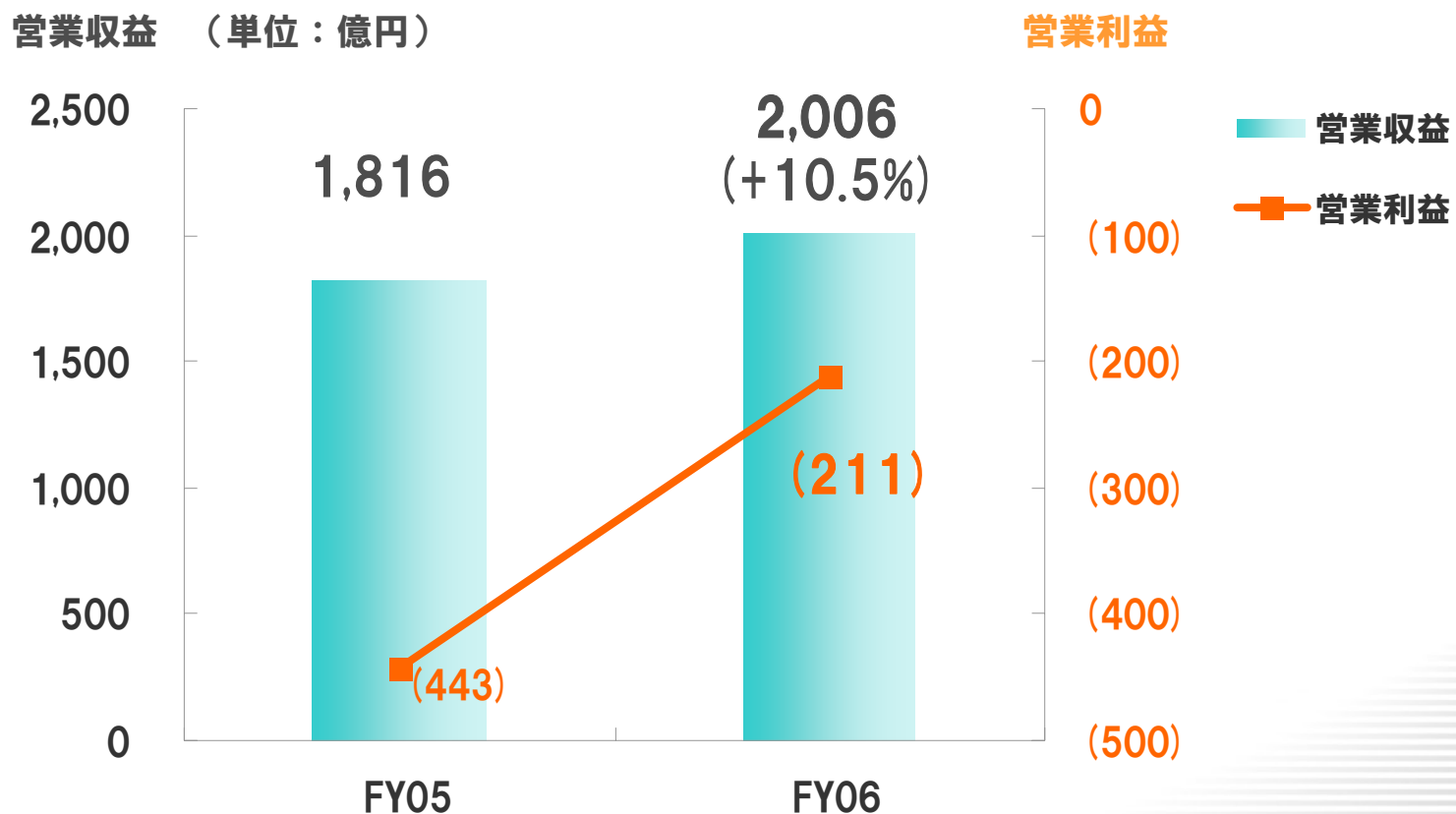
(単位：億円)



プロフォーマベース

5-1.音声伝送サービス事業

おとくラインの増収により営業損失が大幅縮小



プロフォーマベース

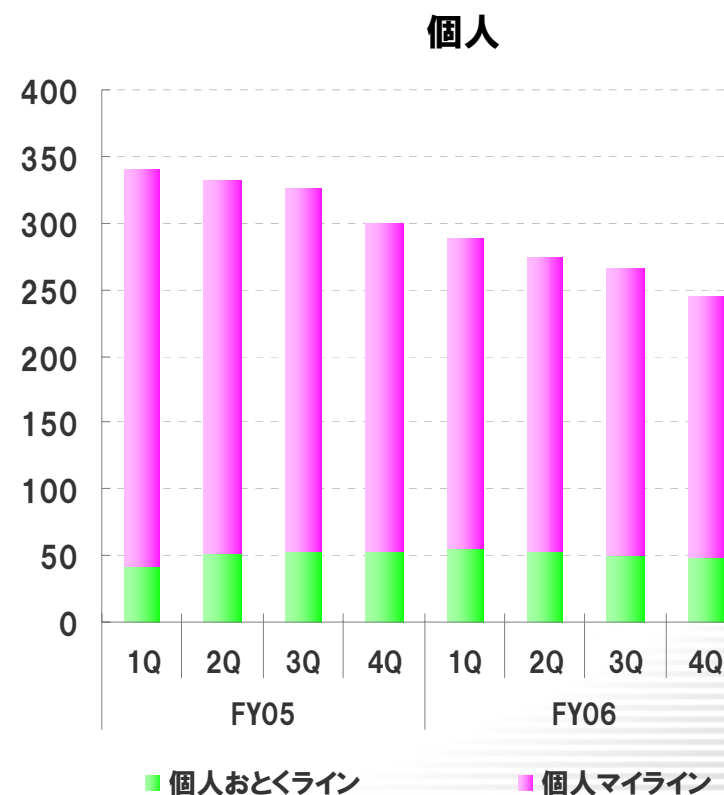
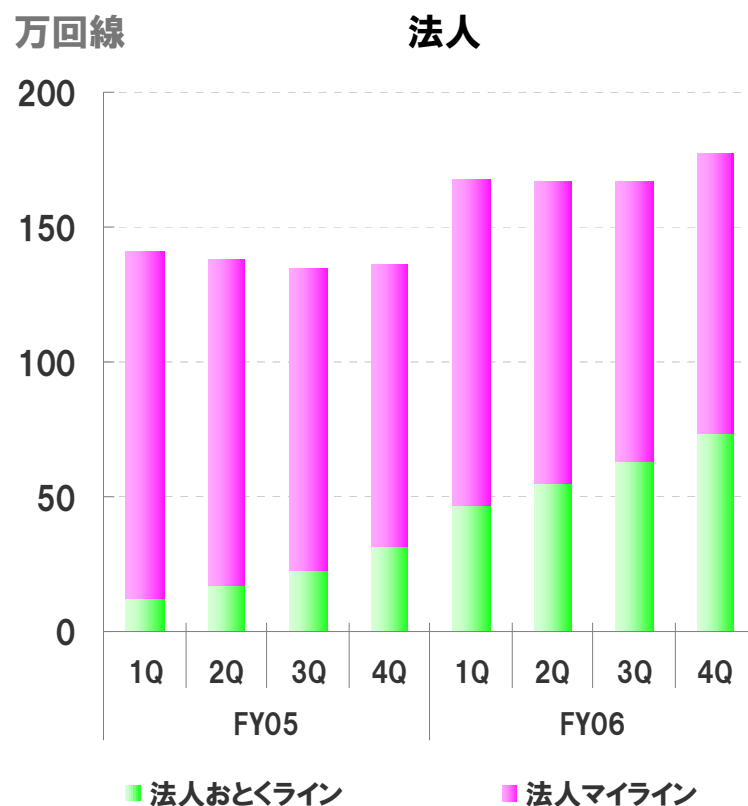
5-2.音声伝送サービス事業

国内電話利用回線数推移

2007年3月末現在

法人	177万回線
個人	244万回線
合計	421万回線

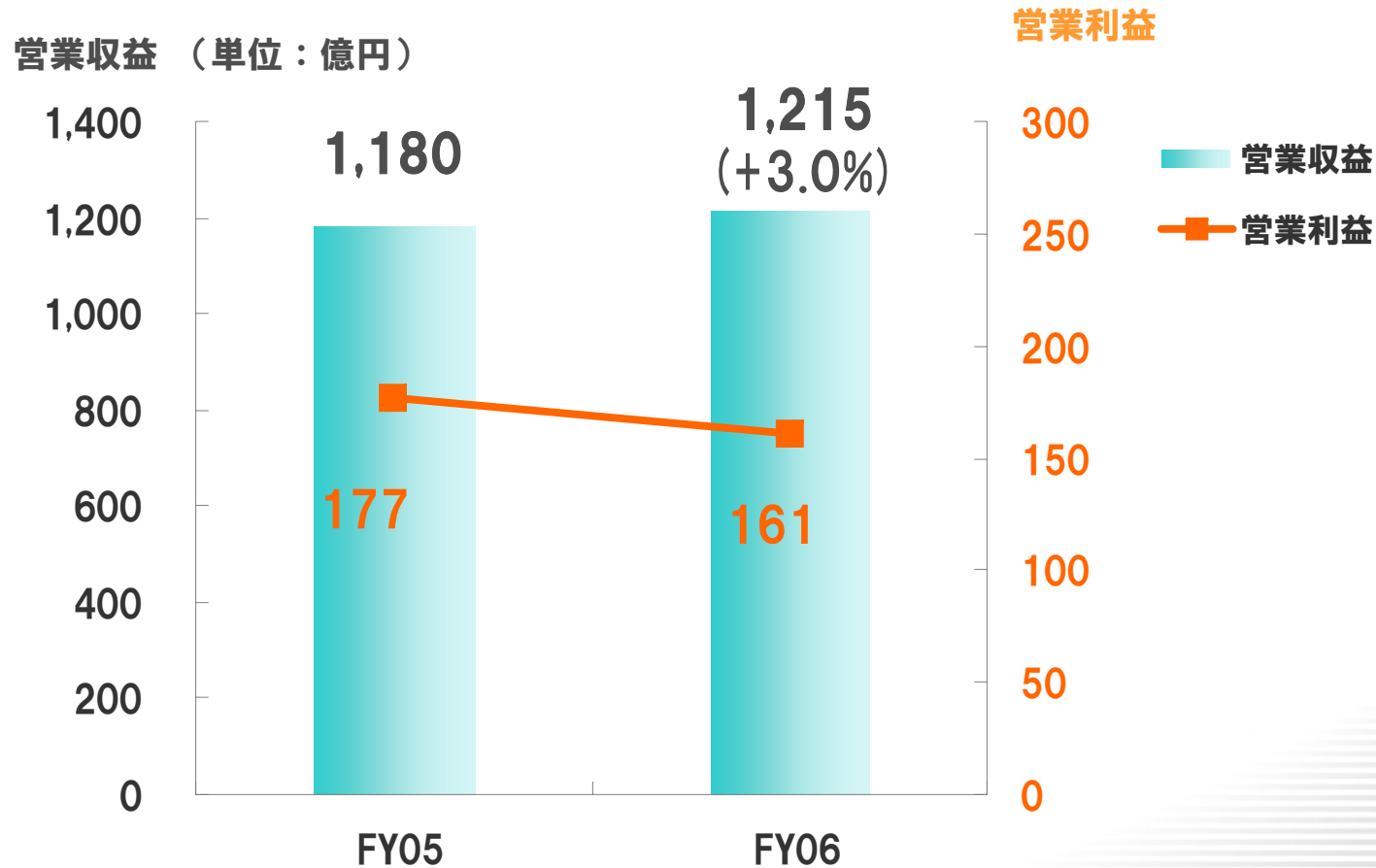
※おとくライン利用回線数(法人+個人):122万回線(内数)



注)各期末時点における利用回線数

プロフォーマベース

6-1.データ伝送・専用サービス事業

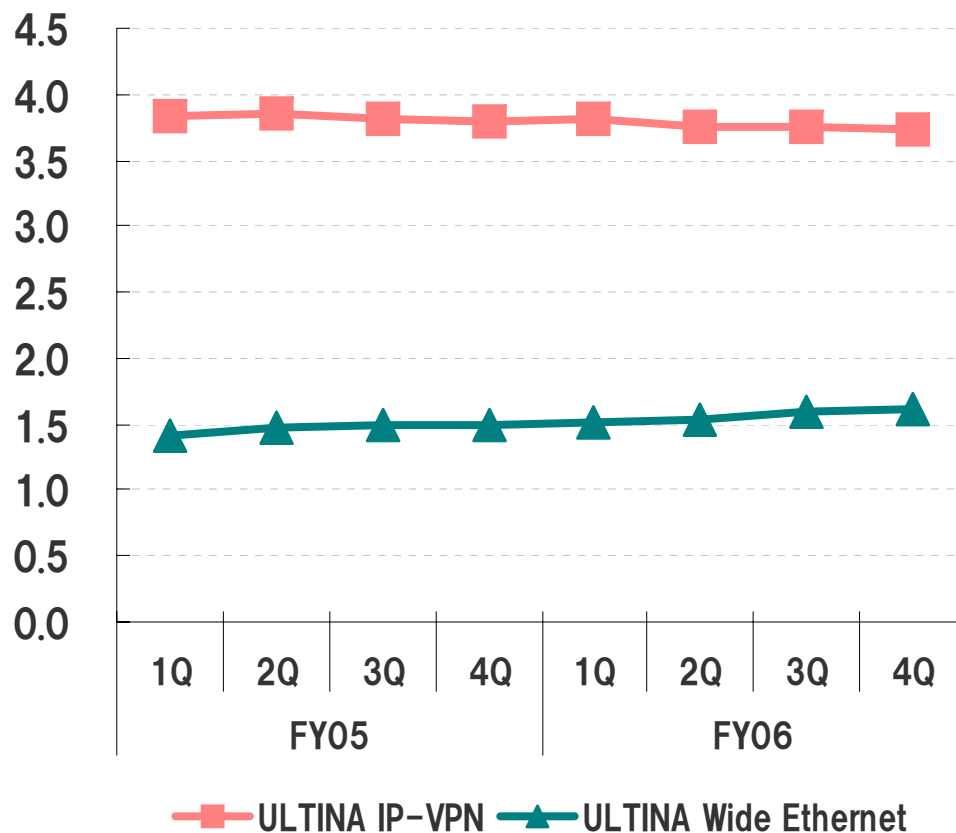


プロフォーマベース

6-2.データ伝送・専用サービス事業

IP・イーサネット系利用回線数推移

万回線



ULTINA IP-VPN
3.7万回線 (2007年3月末)

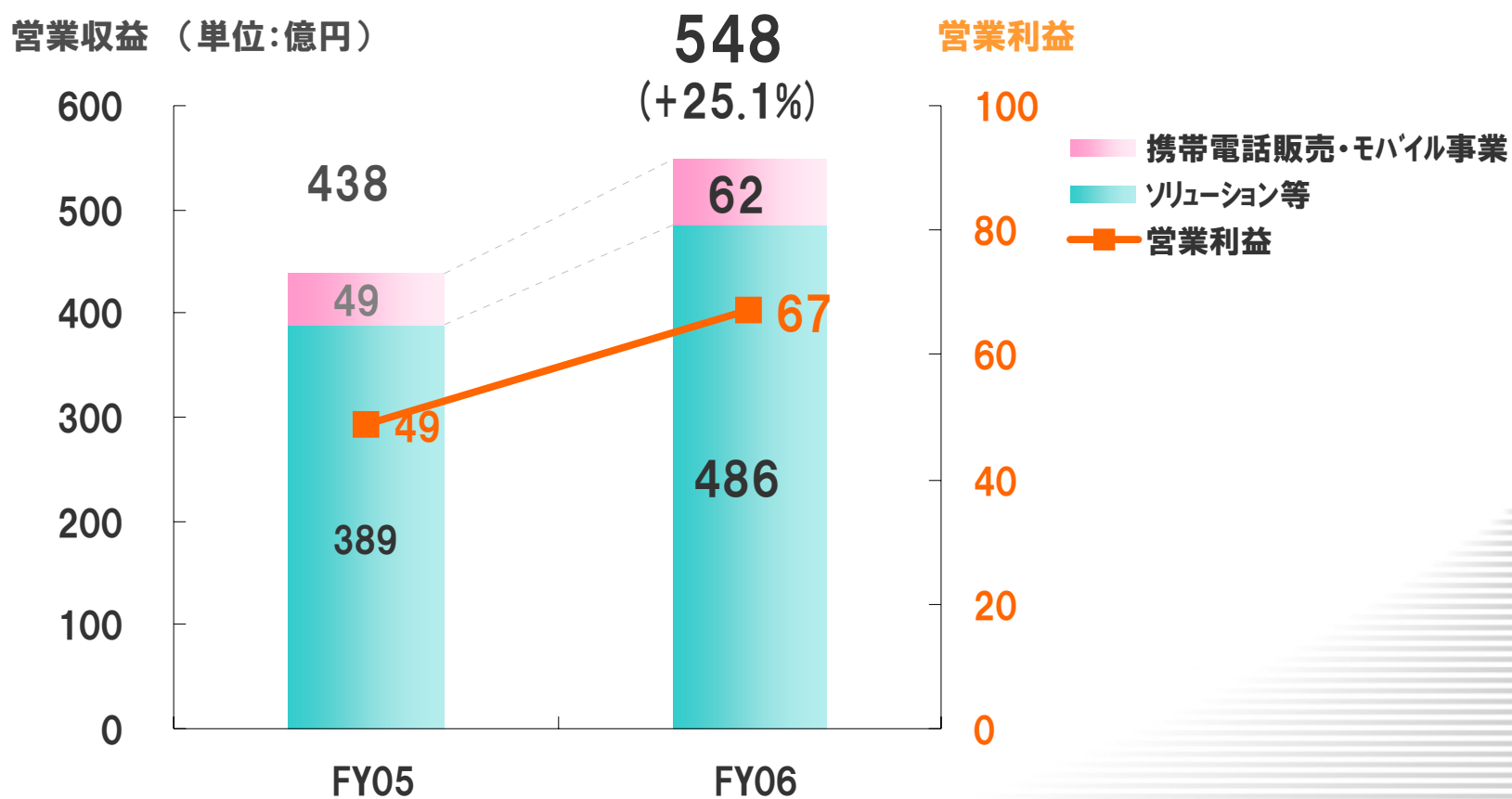
ULTINA Wide Ethernet
(広域イーサネット)
1.6万回線 (2007年3月末)

注)各期末時点における利用回線数

プロフォーマベース

7.その他の事業

ソリューションビジネスの拡大により営業収益が大幅増

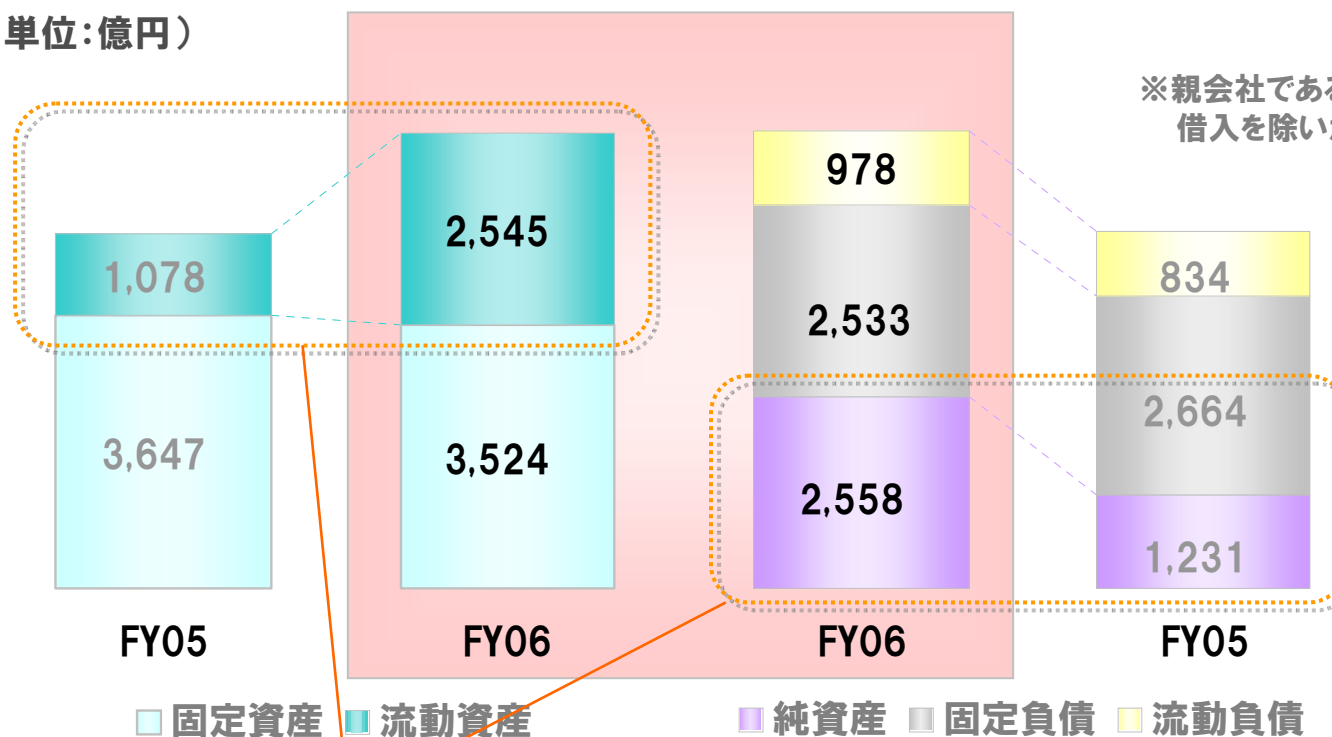


プロフォーマベース

8.貸借対照表の概要

外部有利子負債(※)
 06年3月 1,909億円
 07年3月 1,677億円
 ▲232億円

(単位:億円)



※親会社であるソフトバンクからの借入を除いた有利子負債

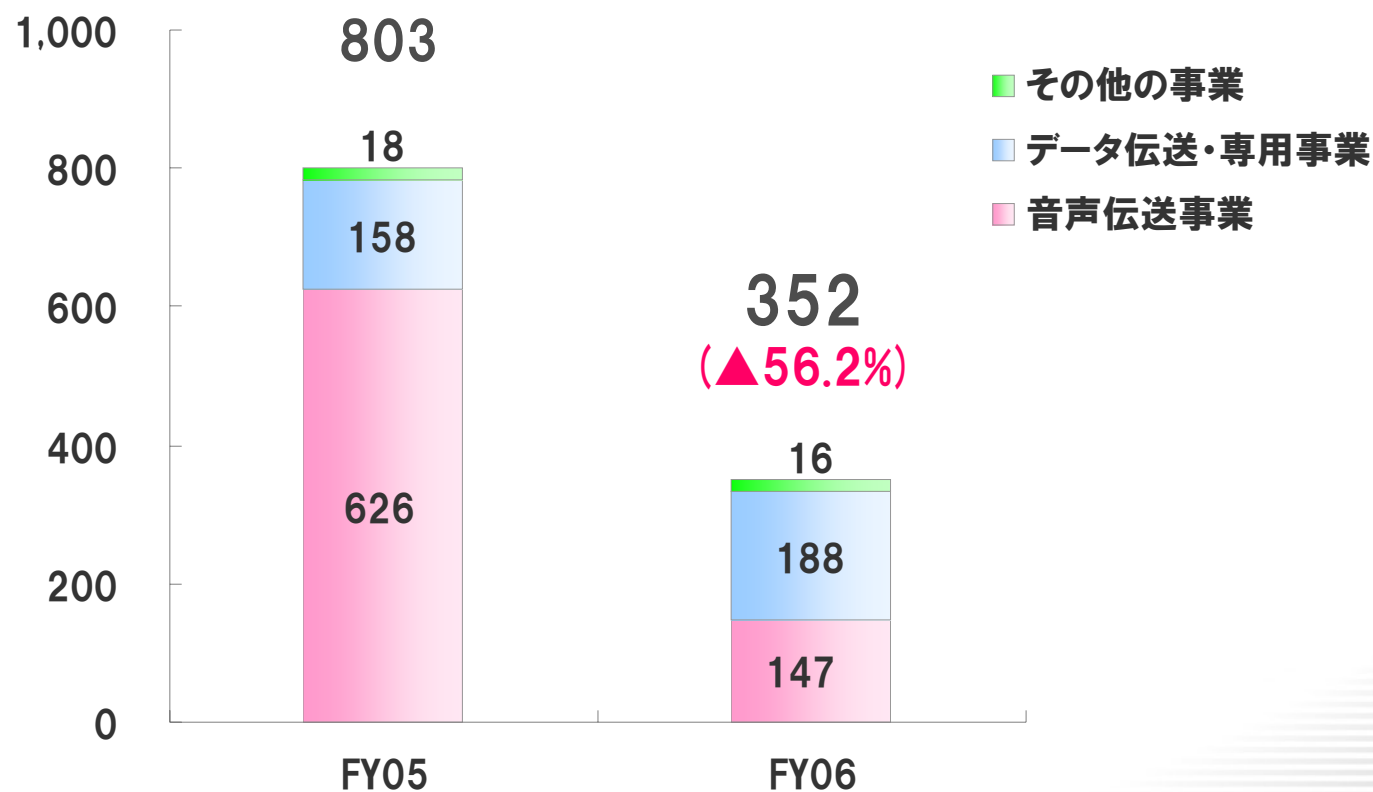
2007年2月のソフトバンクテレコム販売(株)との合併に伴い、
 流動資産と純資産が増加

プロフォーマベース

9.設備投資の状況

設備投資を大幅に圧縮

(単位:億円)



リース調達(内数)

226

76

プロフォーマベース